



第 53 号

発行所

〒157-8560

東京都世田谷区成城 1-13-1

東京都市大学附属中学校・高等学校内

電話 03-3415-0104

発行責任者 阿部俊夫

編集責任者 清水茂

二〇二一年度キャリアスタディ ～現状と今後の課題について～

キャリアスタディ委員長・理事 青木良雅(二二期卒)



キャリアスタディ最大の行事である企業研修も無事終える事が出来ました。関係者の皆様、二三人のコーディネーターの方のご協力に感謝しています。二〇二一年一月二十八日の二〇二一年度キャリアスタディ発表会をもって総括されます。

さて、キャリアスタディ企業研修も本格化し、三年目を迎えました。二〇二一年度のキャリアスタディ企業研修の実績は、コーディネーター二二三(一八)人、二八(二五)企業、研修数四一(三三)回、参加生徒数二四九(二四三)人、

キャリア 班数五四(五〇)になります。
※()内数字は二〇二〇年度を表わします。

二〇二一年度のキャリアスタディは、二〇二〇年度の成果と課題をふまえてスタートしました。

(一) 開始時期：スタート時期「後ろ倒し」により六月八日がスタート講演日になりました。

(二) コーディネーターへの事前説明：二〇二〇年度直前集会へのコーディネーターの参加が少なく、コーディネーターと生徒の事前コミュニケーションに欠け、研修当日ぶつけ本番になってしまったことの反省として、コーディネーターへの事前説明会を二回開催、参加二人のコーディネーターに二〇二一年度の研修についてレクチャーをする事が出来ました。

(三) 業(わざ)あり先生「TCU 版夢先生」と社会人模擬授業

本年度 懇親会のご案内

今年の「懇親会」は今までの総会とは別に設定し、同窓会会員相互の親睦をはかるため開催されます。同窓生の皆様、是非ご参加ください。

又、今回は特に第17期(昭和45年3月卒業)生の皆様は、ぜひともご出席くださるようご案内申し上げます(幹事：古橋昭男さん)。第17期生の同級生の皆様には、当時の担任でおられた懐かしい先生方にも声をかけさせていただいており、卒業から40年ぶりに昔懐かしい話に盛り上がっていただきたいと思います。なお、第17期生については別途ご案内を送付しております。ご覧ください。

日時 2011(平成23)年11月11日(金)

午後7時より

会場 新宿・京王プラザホテル 47階

(宴会場：あおぞら) TEL03-3344-0111

会費 5,000円(食べ・飲み放題)

*当日は、イベントとして女性のプログループ《ラヴィニア》によります歌とパフォーマンスの楽しい楽しいひとときを準備しています。お楽しみに!!

ラヴィニアからのメッセージです。

♪初めまして!ラヴィニアと申します。♪♪♪♪♪♪♪

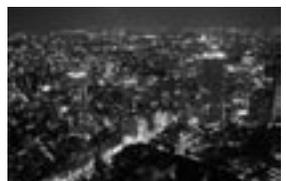
ご縁がありまして、皆様の大切な会合に参加させて頂く運びとなりました。どうぞ宜しくお願い致します。

私達は基本的には舞台役者として、それぞれ別の場所で活動しています。

ラヴィニアとしては、年に一回のペースで劇場公演、その他にライブやコーラスなどのお仕事もしています。今年の夏は、劇作家 別役実さんのエッセイを舞台化して好評を頂きました。

今回のライブで、皆様に歌声をお聞かせするのは、ラヴィニア主宰者の一人である、宮内彩地とラヴィニア作品常連の茜部真弓と小野文子、彦坂有美。

ラヴィニア公演の目玉は、何と言ってもコーラス!といわれるほど。役者ならではの歌とパフォーマンスをどうぞご期待ください!



が業(わざ)あり先生に一本化されました。同窓会から七人の講師を推薦し、計二人の講師により六月十八日に実施されました。

- ① ガン・ユウ・アンドリュウ...「外国に行ったきっかけ」科学を通して世界でどんな活躍ができるのか」
- ② 本郷奈央美...「理系人生で世界を救おう!」理系進路で出来ること」
- ③ 青木悠祐...「人を救う医療ロボットを作る」ものづくりに大切なこと」
- ④ 那須忠源...「法化系キャリアガイダンス」
- ⑤ 谷田充明...「公認会計士の魅力と将来性」
- ⑥ 大岩湛矣「五期生」...「未来への扉を開ける」

東京都市大学附属高等学校〈同窓会ホームページ〉

<http://tcu-kasiwa.org/>

今までは、本校卒業生の皆様との唯一の連絡媒体として当会報「柏」の発行(年2回)をしていましたが、これからはHPからのご案内並びに通信となりますので会員登録を必ずお願いいたします。

《6年間を通して築く、生徒と教師の厚い信頼関係。毎年多くの生徒が希望する進路に進んでいます。》

- ⑦ 長谷川幸男…「ぼくはぼく」本との出会いから新しい自分を発見」
- ⑧ 久野新一「二三期生」…「英語の契約書」
- ⑨ 古田貴也…ITの仕事ってどんなこと？社長って何をやる仕事？
- ⑩ 室伏喜樹…広告とメディアが「ヒト」「モノ」「コト」をつなげる」
- ⑪ 山本哲也「二五期生」…「岐路の時…選択をいかにして行うか、自身を信じる」
- ⑫ 吉目木晴彦「二三期生」…「科学が価値を生むとき」※吉目木講師一九九三年小説『寂寥郊野』で第一〇九回芥川賞受賞
- (四) マナー講座・直前集会…二〇一〇年度は別々の開催でしたが、二〇一一年度は七月二日に同時に、直前集会については七月一四日にも実施、二回で一〇〇%の実施をすることが出来ました(代行コーディネーター対応含む)。
- (五) 企業研修…八月一日から八月三〇日に涉り実施しました。概要については、二〇一一年度のキャリアアスタディ企業研修の実績として記述してあります。詳細については、別の機会に譲りたいと思います。
- (六) 夢先生…社会人模擬授業と従来の夢先生が発展的に一本化され、「業わざ」あり先生」になりました。OBと生徒が触れ合える折角の機会の夢先生をキャリアアスタディの中で活かしたい、座学でない形で、企業研修に加える事にしました。コーディネーターへの事前説明会時に、趣旨について説明、企業研修詳細情報の研修内容に夢先生の項目欄を設け、時間を一〜二時間程度割いていただき、「TCU版夢先生」＝自身の中高時代にどんな夢を抱き、どんな経験、実践、挫折を経て今に至っているかを語って下さい。」とし、各コーディネーターにお願いし実施しました。各コーディネーターにより意義のある「夢先生」を実施していただけたと思っています。

今後の課題

訪問企業先の拡大、充実、コーディネーターの増員になるのかなあと思ひます。二〇一一年度のキャリアアスタディ企業研修の実績について述べました

協力企業

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 昭和大学藤が丘病院-① | 立野 慶 [33 期生] |
| 2. (株)キャロッセ | 小泉 達雄 [22 期生] |
| 3. 昭和大学藤が丘病院-② | 立野 慶 [33 期生] |
| 4. セコム(株)-① | 安藤 友二 [25 期生] |
| 5. はせべ歯科 | 長谷部 伸一 [21 期生] |
| 6. 桂測量設計(株) | 朝岡 道久 [22 期生] |
| 7. (株)ビッグ・エー-② | 小松 均 [16 期生] |
| 8. 国土交通省 | 小林 英世 [16 期生] |
| 9. (株)エグゼック | 鈴木 威一 [9 期生] |
| 10. (株)ビッグ・エー-② | 小松 均 [16 期生] |
| 11. 三栄レギュレーター(株)東京工場-① | 青木 良雅 [12 期生] |
| 12. システムケイソー(株) | 湯谷 友信 [12 期生] |
| 13. ギャラリー・えすべーる | 清水 茂 [14 期生] |
| 14. 凸版印刷(株)-① | 矢吹 啓 [47 期生] |
| 15. 昭和大学藤が丘病院-③ | 立野 慶 [33 期生] |
| 16. アマノ(株)-① | 梅田 博夫 [16 期生] |
| 17. 三栄レギュレーター(株)東京工場-② | 青木 良雅 [12 期生] |
| 18. セコム(株)-② | 安藤 友二 [25 期生] |
| 19. 医療法人六本木ヒルズクリニック-① | 梅田 博夫 [16 期生] |
| 20. 古田土公認会計士・税理士事務所 | 矢崎 克実 [22 期生] |
| 21. 睦化工(株) 古川 亮一 [29 期生] | 青木 良雅 [12 期生] |
| 22. ソニー(株) | 丸尾 淳 [26 期生] |
| 23. シチズンビジネスエキスパート(株) | 神谷 茂樹 [19 期生] |
| 24. 東京国立博物館-① | 佐々木 幹夫 [14 期生] |
| 25. 医療法人六本木ヒルズクリニック-② | 梅田 博夫 [16 期生] |
| 26. (株)日東電機エンジニアリング-① | 阿部 俊夫 [14 期生] |
| 27. 東京国立博物館-② | 青木 良雅 [12 期生] |
| 28. ジョンソンコントロールズ(株) | 神谷 茂樹 [19 期生] |
| 29. アマノ(株)-② | 梅田 博夫 [16 期生] |
| 30. (株)トムス-① | 大岩 湛矣 [5 期生] |
| 31. 関東電設(株)-① | 宮原 茂 [24 期生] |
| 32. 富士通(株)沼津工場 | 長倉 明彦 [26 期生] |
| 33. (株)NIPPO-① | 矢崎 克実 [22 期生] |
| 34. 関東電設(株)-② | 宮原 茂 [24 期生] |
| 35. 社会福祉法人古木会 | 今井 章久 [12 期生] |
| 36. (株)トムス-② | 大岩 湛矣 [5 期生] |
| 37. (株)日東電機エンジニアリング-② | 阿部 俊夫 [14 期生] |
| 38. (株)NIPPO-② | 矢崎 克実 [22 期生] |
| 39. 京王建設(株) | 徳山 長生 [27 期生] |
| 40. (株)ストリートライフ | 小泉 達雄 [22 期生] |
| 41. 凸版印刷(株)-② | 矢吹 啓 [47 期生] |

山本哲也氏 (第25期 = 昭和53年3月卒)
「平成23年度科学技術分野の☆☆☆☆☆☆☆☆
文部科学大臣賞(研究部門)」に輝く!



平成 20 年 10 月発行「柏」第 47 号に『原稿』を頂戴し、ご紹介させていただいた山本哲也氏が標題の“文部科学大臣賞”を授賞されました。理論物理学の“権威”として現在ご活躍中です。詳細の研究論文等は、同窓会ホームページまたはブログにてご覧ください。おめでとうございます。

- 【経歴】
- 出身：東京都 理学博士 (1997 大阪大学)
 - 1988.03.31 北海道大学大学院理学研究科物理学専攻 物性理論前期博士課程修了
 - 1988.04.01 旭化成株式会社入社 研究開発本部配属
 - 1991-1997 国際コンソーシアム EOM プロジェクト im San Diego 委員
 - 1997.03.31 大阪大学大学院基礎工学研究科物理学専攻 後期博士課程修了 理学博士修得
 - 1999.03.31 旭化成株式会社退社
 - 1999.04.01 高知工科大学工学部電子・光システム工学科 助教授就任
 - 2002.01.01 同大学同学科 教授就任
 - 2004.04.01 同大学総合研究所 マテリアルデザインセンターセンター長 兼務、現在に至る
 - 2005.04.01 理化学研究所共同研究員 兼務、現在に至る

第36回 総会報告

■日時：2011（平成 23）年 5 月 20 日（金）19：00～
■会場：「柏クラブ」武蔵工業会館（自由が丘）

2010年度（2010年10月1日～2011年3月31日）活動報告

- 10.10.10 第 52 回「柏苑祭」参加
- ～10.11 第 2 回同窓会賞贈呈 投票の結果” 中高エレクトロニクス研究会”
- 10.11.12 第 35 回総会・懇親会 於）新宿京王プラザホテル 47F「あけぼの」
第 1 号議案～第 8 号議案 すべて原案どおりに承認されました。その後、懇親会
- 10.12.7 第 1 回理事会 於）武蔵工業会館「柏クラブ」
- 11.2.1 第 2 回理事会 於）武蔵工業会館「柏クラブ」
※総会・懇親会を 2011 年 5 月 20 日（金） 於：武蔵工業会館「柏クラブ」
- 11.4.12 第 3 回理事会 於）新宿カフェ・ド・ボア



或る日の理事会風景

2010年度（2010年10月1日～2011年3月31日）決算報告

一般会計報告（収入の部）

科 目	予算額	決算額	内訳
入 会 金	750,000	624,000	58 期生 208 名
年 会 費	1,500,000	903,000	58 期生 208 名、その他 93 名
引 継 金	2,469,112	2,469,112	前期より
キャリアスタディ	0	0	
雑 収 入	1,000	1,719	預金利息
合 計	4,720,112	3,997,831	

一般会計報告（支出の部）

科 目	予算額	決算額	内訳
会 議 費	90,000	58,522	理事会 2 回
交 通 費	50,000	73,500	
総 会 費	200,000	131,022	
『柏』制作費	30,000	0	
通 信 費	700,000	676,430	『柏』51号 (@80 × 8,439) 他
印 刷 費	300,000	322,259	『柏』51号 (9,500 部¥97,780)
			『柏』52号 (9,500 部¥97,780) 他
			『柏』51号 発送アルバイト
発送アルバイト費	120,000	120,000	
事 務 費	30,000	30,527	
事務局活動費	25,000	13,600	
同窓会賞費	10,000	4,605	
小委員会費	25,000	35,390	
名簿整備費	15,000	10,000	名簿管理アルバイト
柏苑祭費	30,000	14,612	
HP制作費	200,000	244,125	
会員交流補助費	40,000	20,000	
キャリアスタディ	950,000	1,053,564	
予 備 費	100,000	103,020	キャリアスタディ生徒交通費補助
繰 越 金	1,805,112	1,086,655	
合 計	4,720,112	3,997,831	

第 35 回総会決算報告

科 目	収入額	支出額	内訳
会 費	170,000		@ 5,000 × 34
用 品		1,022	
懇 親 会 費		300,000	
総 会 援 助 金	131,022		
合 計	301,022	301,022	

繰越金内訳	
貯蓄預金口座	206,693 円
普通預金口座	701,423 円
郵便振替口座	102,998 円
現 金	75,541 円
合 計	1,086,655 円

前記の通り 2010 年度会計報告いたします。
2011 年 5 月 20 日

会 計 今井 章久
矢崎 克実

会計監査報告

前記、会計内容を監査の結果、正しく表示、記載されていることを認めます。

2011 年 5 月 20 日

会計監査 長谷部 伸一

2011年度(2011年4月1日～2012年3月31日)予算案

収入の部

科 目	予算額	内訳
入 会 金	750,000	59 期生 250 名
年 会 費	1,500,000	59 期生 250 名、その他 250 名
引 継 金	1,086,655	前期より
キャリアスタディ	1,200,000	
雑 収 入	1,000	預金利息
合 計	4,537,655	

支出の部

科 目	予算額	内訳
会 議 費	150,000	理事会 6 回
交 通 費	75,000	理事会
総 会 費	100,000	総会援助金
『柏』制作費	30,000	編集委員会 2 回
通 信 費	700,000	『柏』52号 (@80 × 1,600)
		『柏』53号 (@80 × 8,500) 他
印 刷 費	250,000	『柏』53号 9,000 部¥200,000
		封筒他
発送アルバイト費	150,000	『柏』52号 1,600 通
		『柏』53号 8,500 通
事 務 費	40,000	
事務局活動費	50,000	
同窓会賞費	10,000	
小委員会費	50,000	
名簿整備費	15,000	名簿管理アルバイト
柏苑祭費	30,000	
HP制作費	300,000	
会員交流補助費	40,000	
キャリアスタディ	1,200,000	
予 備 費	100,000	
繰 越 金	1,247,655	
合 計	4,537,655	

卒業生の皆さん！母校を訪ねてみませんか。



第53回 柏苑祭

日時 平成 23 年 10 月 9 日(日)・10 日(祝)

場所 東京都市大学附属中学・高等学校
「同窓会の部屋」

〈小田急線成城学園前駅下車徒歩 10 分〉

中学・高校一貫教育体制も順調に推移し、卒業生の方々のご息も将来の受験の下見を兼ね、さらには今時の中学生・高校生の生態を検証？するもよし。ぜひ、ご来校ください。楽しいひと時を共有しましょう。

- 特別企画 退任先生による「最終講義」
講師：尾崎英昭先生（国語科）

なお、最終日「同窓会賞」を選定します。ご協力ください。



平成 23 年 7 月 20 日

公示

『武蔵山荘』の運営について

今年度の総会（5月21日）において、つぎのとおり承認されましたので、公示いたします。

1. 平成 23 年度をもって山荘の利用を停止する。
2. 平成 24 年度より山荘維持費の徴収を廃止する。

東京都市大学附属中学校・高等学校
PTA 会長・山荘特別委員会委員長 小野眞子

信州工業高校となり、2001年から武蔵工業大第二高校、09年から現高。野球部は1963年創部。卒業生に伊藤優（ロッテ）小池（近鉄など）中原恵司（ソフトバンク）らがいる。塩尻市広丘高出。

東京都市大塩尻高校 1956 (昭和31)年に信州電波専門学校として創立。その後、武蔵工業大附属の後、武蔵信州工業高校となり、2001年から武蔵工業大第二高校、09年から現高。野球部は1963年創部。卒業生に伊藤優（ロッテ）小池（近鉄など）中原恵司（ソフトバンク）らがいる。塩尻市広丘高出。

編集後記

巻頭キャリアアスタデイ並びに社会人模擬授業の実践は、本年八月末をもって三年目（三回目）を無事予定通り終了し、後はこれ等の成果を、来年の前半期に生徒発表会を待って総括することと成ります。

好奇心旺盛な中学三年生。偏った《固定観念》を打破して一生涯これら好奇心を持ち続けてほしいのです。

キャリアスタ担当理事並びにその他の理事、さらに同窓生協力者の方々の親身で献身的な協力で母校の先生方の生徒を思う気持ちが一歩となつての「大イベント」である。

皆様のこれらのご努力と支えが、今後成長していく後輩の生徒たちに後々素晴らしい結果が生まれますように、母校の先生方ともどもとても楽しみでもあり、また、内心心配でもあります。

今年三月一日・一四時四六分東北地方の岩手・宮城・福島の大津波に於いて巨大地震発生。マグニチュード9（震度6強）という。これに伴い大津波発生。津波による死者・不明者数二万人弱。被災者の方々に心からお悔やみ致します。

さらに福島に於いては、この地震の発生により福島第一原発の全電源が失われ、核燃料を冷却できない事態に陥った。

その後、メルトダウンによる水素爆発。更に放射能の拡散。この事故の二週間ほど後に小生自宅近くの地区センター会議室での、ある集会で、過去にこの原発の「技術者」であった職員を講師に招き講演を聴く機会があり参加した。原子炉建屋の内部の「図面」が資料として配布されて愕然とした。原子炉建屋の中の配管は足の踏み場もないほど縦横に張り巡らされていた。素人でも『地震』を想定している施設とは考えられない。建設後四〇年も稼働させてきたという。何故ここ数年来『巨大地震』の襲来の可能性が取りざたされていたのにも関わらずに、設計変更・設備改善してこなかったのか大きな疑問を抱いた。こんなに危険な施設であるにも拘わらず。

全ての建築物・設備等は、維持管理が何よりも重要なのである。きつと『経済優先』がための新しい原発を増産することだけに力を注いだのでしよう。

思えば、海を隔てたお隣の国の新幹線の『追突脱線落車事故』との共通点が見え隠れするのです。予算は付けなくても維持補修に神経を使わないことは、今後も危険に晒されるのでしよう。 清水 茂（十四期生）